

「光の道」WG (第9回)の結果について

1. 日時

2010年10月20日(水)15:00~17:00

2. 参加者

山内主査、相田構成員、吉川構成員

3. 議論の概要

10月26日開催の ICT 政策タスクフォース(2部会合同)に報告予定の論点整理(案)について意見交換を行った。なお、本日欠席した構成員に対しては、資料を送付の上、内容確認を依頼し、意見等を主査が集約することとなった。

【主な意見】

- NTTの在り方については、色々なバリエーションがあるが、実現のための時間を考慮して検討することも必要ではないか。
- NTT東西のネットワークは、アクセス網と中継網を分けて運用・管理できるように設計されていないのではないか。
- NGNについては、NTTとの協議が進まない間に、そのボトルネック性が高まるおそれがあるため、アンバンドル化を進めて他事業者を利用させた方が色々なサービスが出てくるとも考えられるが、どうか。
- NGNの有効な活用方法については、あまり見えていない状況であることから、関係者においてもう少し議論を深めた方がよいのではないか。
- NTTのグループドミナンスの問題は、子会社がどうかといった資本関係よりも、業務委託や情報管理等が本質だと思う。金融のインサイダー取引規制は、情報管理に関する規制であり、参考になるのではないか。
- NTT東西とドコモの業務連携などについても議論が必要ではないか。
- フランスでは、マンション等に新規に屋内配線を設置する事業者は、他事業者分も含めて設置・運用等を行うこととされていたと思うが、日本では、どうか。
- マンションでも、NTT所有の屋内配線が増えていると聞いており、事業者間での転用の可否が問題となってくるのではないか。
- 論点整理について、事業者の意見を聞いた方がよいのではないか。

4. 今後の予定

次回は、11月12日に開催することとなった。